

# 宮城県の助成プログラム×NPO ～資金と想いの好循環～ 「助成事例」編

## ｜参加者アンケート結果｜

日時：2025年9月5日（金）14：00～17：00

会場：みやぎNPOプラザ／オンライン Zoom

気仙沼中央公民館

大崎市市民活動支援センター

角田市市民センター

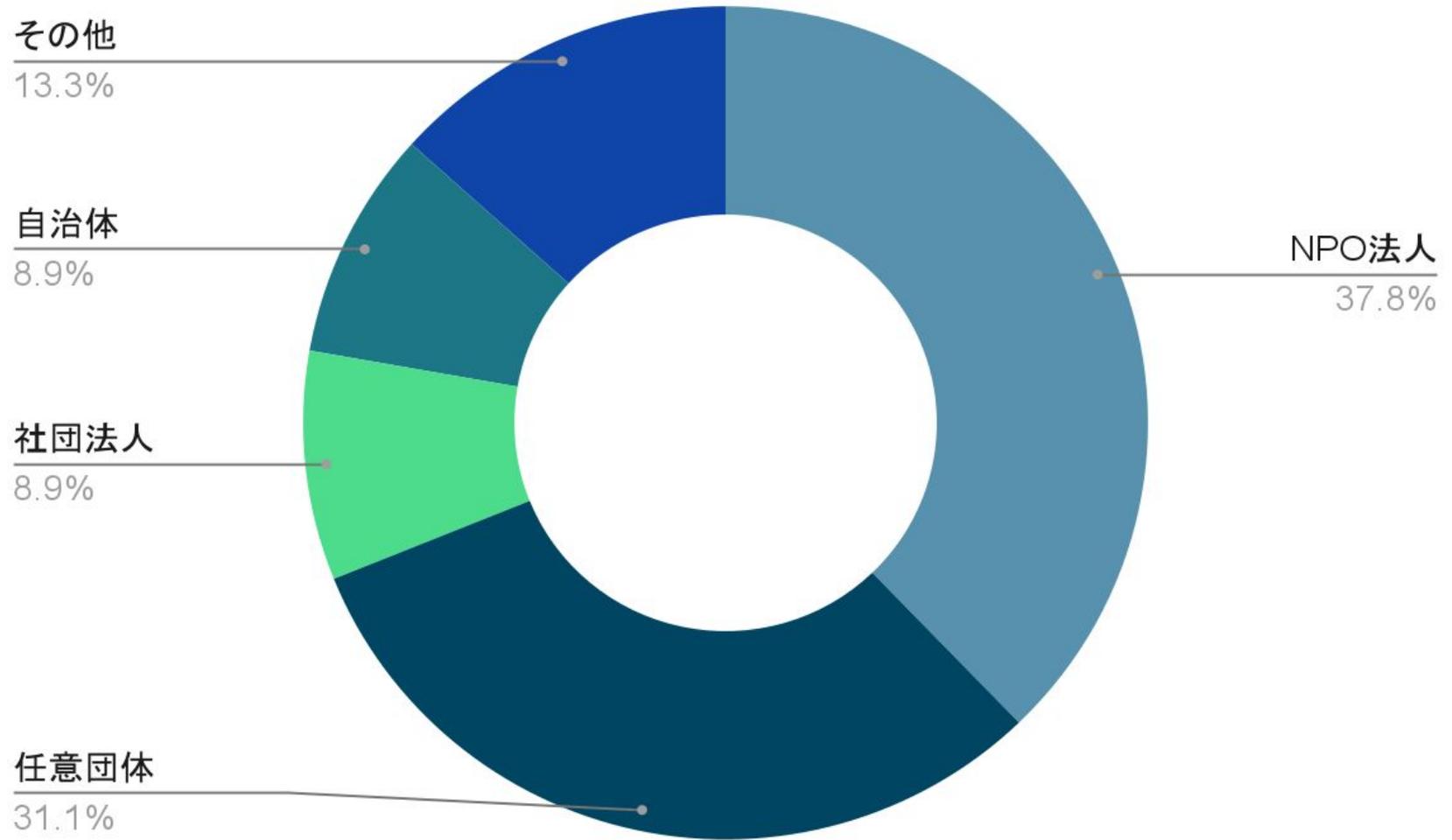
参加者：45名（本会場20名、大崎7名、気仙沼5名、角田3名、オンライン10名）



[登壇団体] 真如苑、仙台銀行、東北労働金庫、

宮城県共同募金会、みやぎ生活協同組合生活文化部

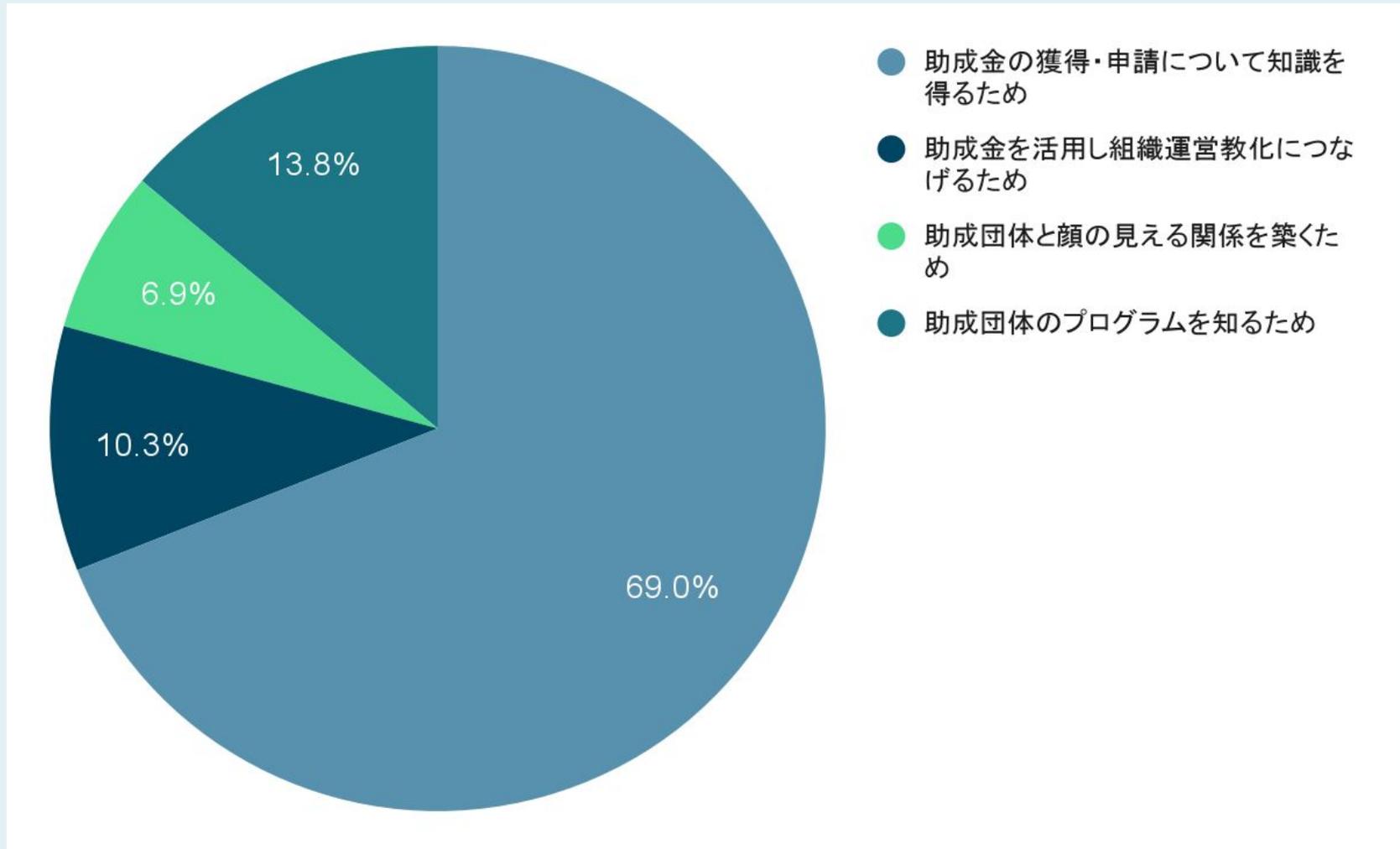
## 参加者の属性 (n=45)



※「その他」:個人4名、大学関係者2名

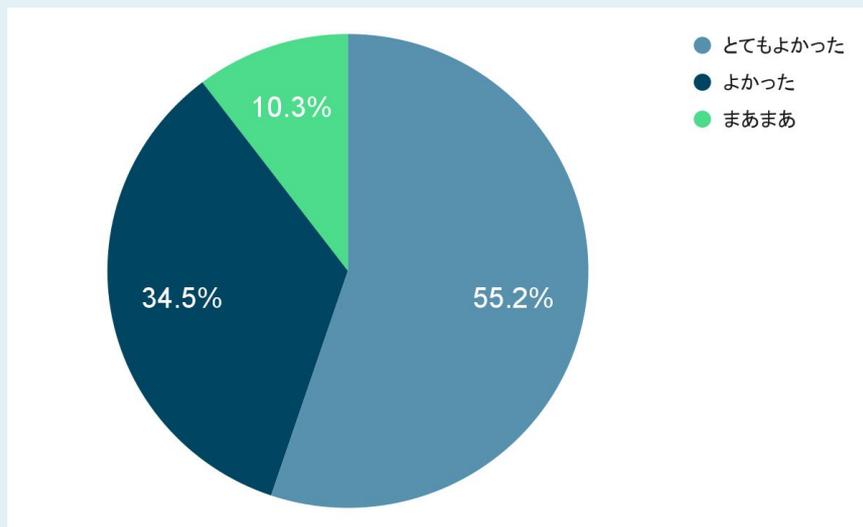
# 01

本イベントへの参加目的を教えてください。(複数選択可)



## 02

話題提供（杜の伝言板ゆるる・石田さん）  
はいかがでしたか。



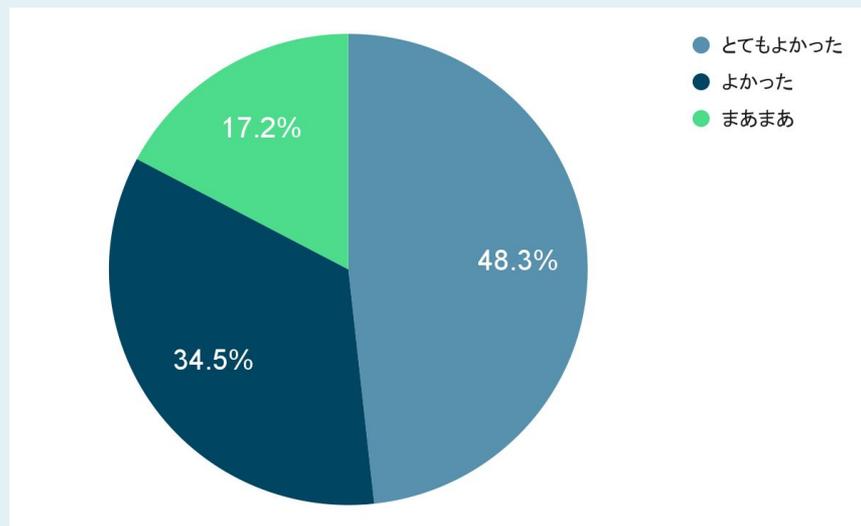
## 03

その理由を教えてください。

- いつも漠然と助成金の募集要項を見ていましたが、より深く読みとくことの大切さをしりました。
- 助成団体の目線から助成制度を考えることができた。
- 助成を受けるにあたっての基礎、考え方を教えていただいた。
- マッチングが大切であることがわかった。
- 資金集めそのものについてから説明いただき、理解を深めることができた。

# 04

事例紹介（宮城県共同募金会、外国人の子ども・サポートの会）はいかがでしたか。



# 05

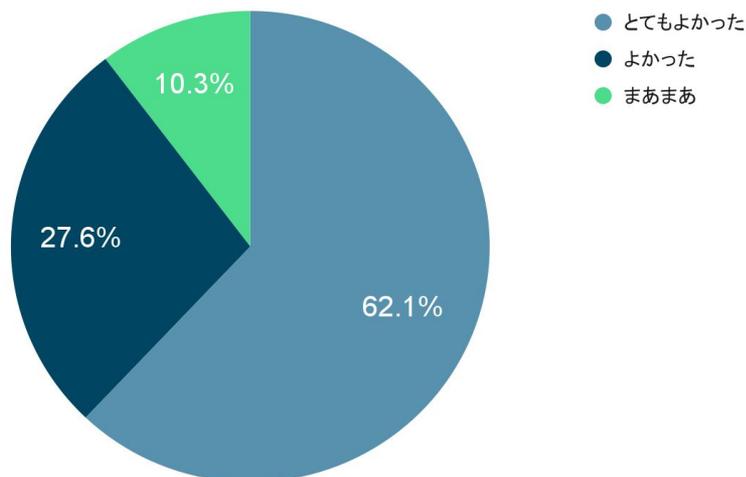
その理由を教えてください。

- 実際の事例を知ることで、助成団体との関係性を身近に感じ、自分たちの活動に繋げることが出来た。
- 助成金採択団体の目線からその助成の使いやすさが見えてきたのが良かったです。
- 助成金を大切に使用している思いが強く伝わってきて、支援者への報告という観点からも、大変素晴らしいと思った。
- サポート対象の変化など、知らない事情を伺うことができた。



# 06

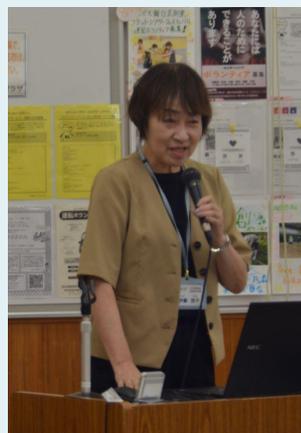
助成団体によるプログラム紹介はいかがでしたか。



# 07

その理由を教えてください。

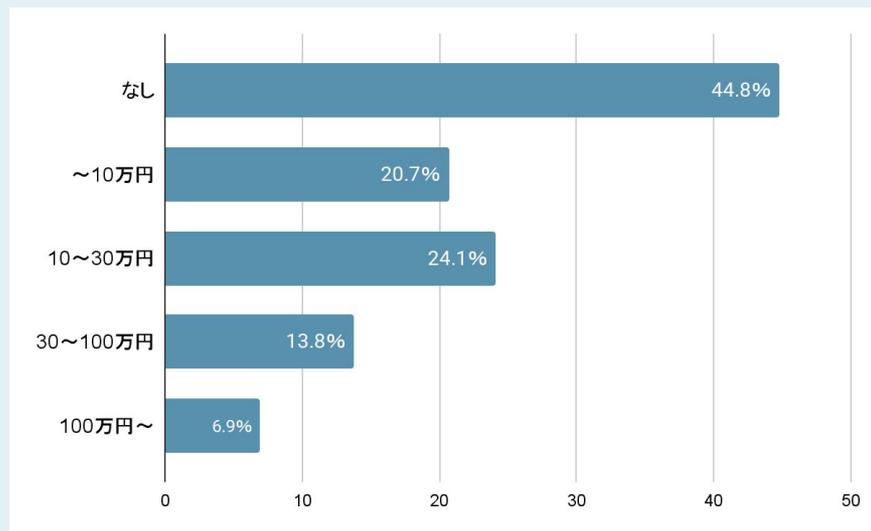
- 様々な助成プログラムを聞き、自分たちの活動と照らし合わせ、助成プログラムの対象として考えるきっかけになった。
- 各事業団体様の理念、目的、考えていることを、深く知ることができました。
- それぞれの趣旨を知ることで団体に合わせた助成団体を選ぶことが必要であると改めて感じることができた。
- 実際に活用のための申請したいと思えた。



## 助成金について (n=29)

# 08

助成金申請経験について教えてください。  
(複数選択可)



# 09

お話を聞きたい助成団体（プログラム）  
はありますか？

- WAM助成
- 日本財団
- 高木仁三郎基金
- 継続して活動するので、その他にも継続して支援頂ける助成団体についても知りたい。
- 業務委託を受けてる団体やある程度の規模をもったスタッフを雇用できる人件費が手当できる団体よりも、そうでない小さい団体で事業を拡大したいと考えている団体の話を伺いたい。

# 10

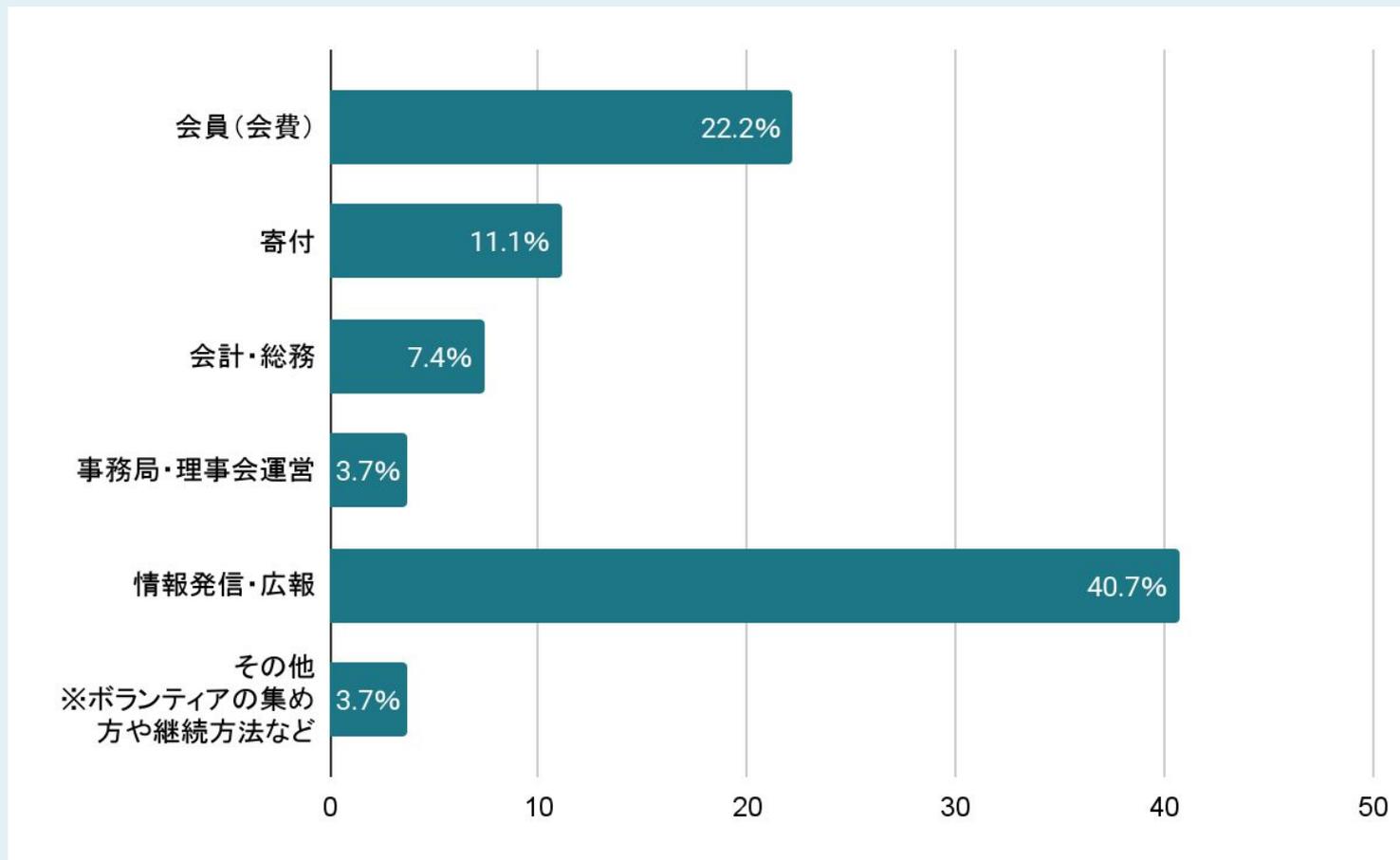
助成金について知りたい情報や聞きたいお話があればご記入ください。

- 実際に過去に申請して落選した書類の見直し方等の勉強会があると嬉しいです。
- 寄付に近い助成金があれば知りたい。（一日程度のアルバイトや、講師謝礼等にも使用できるなど）

## 今後について (n=27)

# 11

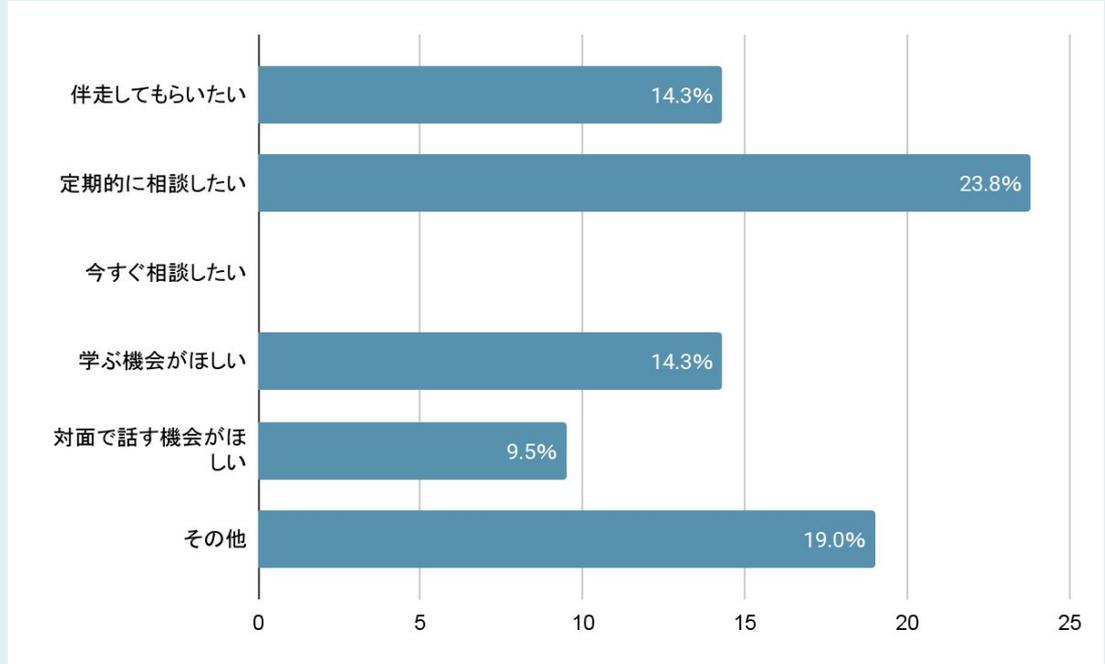
組織運営において今後学びたいテーマがあれば教えてください。(複数選択可)



## 今後について (n=28)

# 12

今後期待するサポートがあれば教えてください。(複数選択可)



### ○参加者の声

助成団体とお話しすることができてとても良かったです。／具体的な説明だったので大変為になりました。／色々な企業様のご支援があることに驚きました。／企画ありがとうございました。石巻圏域での復興支援の取組が続けられるように考えていきます。／運営について、なかなか時間をとって相談に行くことが難しかったので、今日は思い切って参加できて大変良かったです。

## 実施成果

3度目の実施となる今回の助成事例編では、アンケート回答者の約半数が「助成金申請経験がない」と回答しており、これから申請を検討する草の根団体を中心に参加があったことが伺える。3年間でのべ200名以上の参加があることから、すでに参加経験のある団体を除き、今まで情報が届かなかった草の根団体や、自治体職員の情報収集にも活用されつつある場になっている。助成プログラム紹介の感想では「それぞれの趣旨を知ることで団体に合わせた助成団体を選ぶことが必要であると改めて感じる事ができた」「助成提供団体が何を求めているのかという視点が新しく、よくよく考えてみるとおっしゃる通りと納得した」といった声があり、当初のねらいが実現できた。

## 今後の展望

助成団体との相互理解が実現できた一方で、申請書を書くことが苦手といった声や、今後期待する場として「申請して落選した書類の見直し方等の勉強会」といった実務レベルでスキルアップにつなげる機会も求められていた。これらの現場の声を今後のイベントのあり方や、日頃の支援にも活かしていきたい。